



市議会だより

No. 86
2026.8.1

かいなん



5月臨時会 6月定例会

—おもな目次—

5月臨時会、新しい議会構成	2
6月定例会の主な議案・補正予算	7
政務活動費	11
一般質問	12

新メンバーでスタート

5月臨時会

市議会議員一般選挙後、初めての議会となる令和8年5月臨時会は、5月14日から18日までの5日間の会期で開かれました。

臨時会では、議長・副議長の選挙や議席番号の決定のほか、各常任委員会委員の選出、一部

事務組合等の議会議員選挙、各諮問機関等の委員選出が行われ、新しい議会構成が決まりました。また、市長から報告案件や人事案件などの議案が提出されたほか、議員から発議が提出されました。

議長・副議長就任のご挨拶

議長 米原 耕司

副議長 川口 政夫

市民の皆様には、平素より市議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、去る5月臨時会におきまして、海南市議会議長並びに副議長に就任いたしました。

新体制となりました海南市議会といたしましては、市当局と一体となり、市民の皆様のご期待に沿えるよう、議会の活性化を図るとともに、市政の発展及び市民福祉の増進に寄与し、より民率的で能率的な海南市議会を目指してまいる所存でございます。

今後とも、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶といたします。



議長 米原 耕司

副議長 川口 政夫



5 杉本 博美

- ① 市民クラブ
② 黒江



4 中家 悦生

- ① 公明党
② 棕木



3 森下 貴史

- ① 公明党
② 下津町下津



2 那須 亜美

- ① 日本共産党海南市議会議員団
② 日方



1 岡 義明

- ① 日本共産党海南市議会議員団
② 藤白



10 熊野 愛子

- ① 無所属
② 名高



9 古田 充司

- ① みらいクラブ
② 阪井



8 坂口 勝彦

- ① みらいクラブ
② 下津町引尾



7 橋爪 大輔

- ① 市民クラブ
② 船尾



6 溝口 千歳

- ① 市民クラブ
② 山崎町



議長

15 米原 耕司

- ① 市民クラブ
② 日方



14 田村 秀明

- ① 市民クラブ
② 日方



13 池原 弘貴

- ① 市民クラブ
② 黒江



12 榊原 徳昭

- ① 市民クラブ
② 大野中



11 川崎 一樹

- ① 市民クラブ
② 重根

議席番号／氏名

- ① 会派名
② 住所



副議長

18 川口 政夫

- ① 市政クラブ
② 下津町下津



17 東方 貴子

- ① 市政クラブ
② 冷水



16 宮本 憲治

- ① 市政クラブ
② 藤白

委員会等の構成を紹介します

○委員長
○副委員長

常任委員会

それぞれ所管する事項について専門的に審査、調査、研究を行います。

総務委員会

総務部、出納室、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会、消防本部・消防署・消防団の所管に関する事項、また他の委員会の所管に属さない事項を所管します。

〔後列左から〕川崎一樹 森下貴史 東方貴子
米原耕司

〔前列左から〕○古田充司 ◎池原弘貴



建設経済委員会

まちづくり部、水道部、医療センター、農業委員会の所管に関する事項を所管します。

〔後列左から〕川口政夫 坂口勝彦 溝口千歳
那須亜美

〔前列左から〕○榊原徳昭 ◎橋爪大輔



教育厚生委員会

くらし部、教育委員会の所管に関する事項を所管します。

〔後列左から〕宮本憲治 中家悦生 岡義明
杉本博美

〔前列左から〕○熊野愛子 ◎田村秀明



予算決算委員会

予算及び決算に関する事項を所管します。

◎榊原徳昭 ○岡義明
（※議長を除く全議員17人）

議会広報委員会

議会だよりの他、議会ホームページなど議会広報に関する事項を所管します。

◎古田充司 ○熊野愛子
池原弘貴 坂口勝彦 杉本博美
溝口千歳 （※写真は20ページに掲載）

議会運営委員会

議会の運営や会議規則、委員会条例及び議長の諮問に関することについて協議するとともに、議会運営委員会の所管に関する議案、陳情等を審査します。

◎杉本博美 ○古田充司
池原弘貴 宮本憲治 森下貴史
川崎一樹 岡義明

一部事務組合議会

国民健康保険野上厚生病院組合議会	橋爪大輔 榊原徳昭 東方貴子
海南海草老人福祉施設事務組合議会	那須亜美 森下貴史 坂口勝彦 田村秀明
海南海草環境衛生施設組合議会	岡 義明 那須亜美 溝口千歳 橋爪大輔 坂口勝彦 熊野愛子 川口政夫
五色台広域施設組合議会	中家悦生 杉本博美 古田充司 川崎一樹
紀の海広域施設組合議会	溝口千歳 熊野愛子 池原弘貴 宮本憲治

広域連合議会

和歌山県後期高齢者医療広域連合議会	杉本博美
-------------------	------

諮問機関等の委員等

国民健康保険運営協議会	岡 義明 杉本博美 池原弘貴 田村秀明 東方貴子
都市計画審議会	中家悦生 古田充司 宮本憲治
和歌山下津港整備・振興促進協議会	米原耕司 橋爪大輔
和歌山下津港（海南地区）津波対策協議会	米原耕司 川口政夫
国道42号・有田海南間整備促進協議会	米原耕司 橋爪大輔
国道370号海南紀美野間改修促進協議会	米原耕司 橋爪大輔 川口政夫
国道424号海南有田川間改修促進協議会	米原耕司 川口政夫 森下貴史 那須亜美 中家悦生
県道海南金屋線改修促進協議会	米原耕司 川口政夫 川崎一樹 坂口勝彦 熊野愛子
和歌山県高規格幹線道路建設促進委員会	米原耕司
京奈和関空連絡道路建設促進期成同盟会	米原耕司
海南・海草議会議員連絡協議会	米原耕司 川口政夫 那須亜美 森下貴史 溝口千歳 坂口勝彦 熊野愛子 池原弘貴 田村秀明

中低所得者層への負担軽減措置

報告第4号 専決処分事項の報告について（海南市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）

こんな質問がありました

問：議会の議決を経ずに、専決処分を行わなければならなかった理由、また、専決処分を行ったことの妥当性は。

答：去る3月31日に地方税法施行令の一部を改正する政令が公布され、4月1日に施行されたことに伴うものである。賦課限度額の改正については、中低所得者への配慮など、法改正に準じた内容であること、また、国保運営の広域化により、改正時期も一律であることが望ましいと考え、国民健康保険運営協議会においてご議論いただき、答申をいただいた。
令和8年度分の国民健康保険税から適用するため、議会を招集する時間的余裕がなかったことから、やむを得ず専決処分とさせていただいた。

問：経済的弱者、所得の低い方々へ配慮された点は。

答：賦課限度額を引き上げ、高所得者層に応分の負担をいただくことで、負担感の重い中間所得者層の負担上昇を、できる限り緩和することをねらいとしている。医療分の賦課限度額を引き上げることにより、増収となる財源を活用し、中低所得者層への負担軽減措置として、医療分の所得割を0.1%引き下げている。

専決処分とは

本来、議会が議決または決定すべき事項について、地方自治法第179条に基づき、緊急性が高く、議会を開催する時間的余裕がない場合などに、行政運営の遅れや滞りを防ぐため、市長が議会の議決を経ずに、議会の権限に属する事項を決定・処理する制度である。

議案の審議結果

◎…全会一致で承認、可決 ○…賛成多数で承認 ×…賛成少数で否決

5月臨時会		
議案番号	議 案	結果
報告第2号	専決処分事項の報告（海南省税条例の一部を改正する条例）	◎
報告第3号	専決処分事項の報告（海南省地方活力向上地域等における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例）	◎
報告第4号	専決処分事項の報告（海南省国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○
報告第5号	専決処分事項の報告（令和7年度海南省一般会計補正予算（第9号））	◎
発議第1号	海南省議会委員会条例の一部を改正する条例	◎
発議第2号	オイルショックの影響による市内中小企業等の経営安定化に向けた緊急対策を求める決議（案）	×

報告第4号 関連記事5、6ページ 発議第1、2号 関連記事8、9ページ

賛否の分かれた議案等

○…賛成 ×…反対

議案番号	会派・議員名		日本共産党 海南市議会 議員団		公明党		みらい クラブ		市民クラブ						市政クラブ			無所 属	結 果
	岡 義 明	那須 亜美	中家 悦生	森下 貴史	古田 充司	坂口 勝彦	川崎 一樹	榊原 徳昭	田村 秀明	米原 耕司	池原 弘貴	杉本 博美	橋爪 大輔	溝口 千歳	川口 政夫	宮本 憲治	東方 貴子	熊野 愛子	
報告第 4 号	×	×	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
発議第 2 号	○	○	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	○	○	○	×	否決

●議長は賛否に加わるできません。ただし、賛否同数の場合は、議案の可決・否決を決めることができる「裁決権」が認められています。

討論

○報告第4号

反対

子ども・子育て支援の名の下で、国が全ての被保険者の保険料に子ども・子育て分を上乗せすることは、大間違いである。高すぎる国民健康保険税を抜本的に改善することが、今、国の果たすべき責任である。（岡 義明）

資格情報を医療機関の窓口で確認

議案第40号 海南市医療費の助成に係るオンライン資格確認に伴う関係条例の整備に関する条例

こんな質疑がありました

問：PMH*システムが未導入の医療機関等への対応は。

答：条例の可決後、医療機関等に働きかけを行う。また、国の補助金が9月末まで受け付けられていることを広報する。

問：本市は、和歌山市と同じ医療圏であるが、和歌山市の医療機関等との連携はどのようになっているのか。

答：医療費助成制度については、県内のPMH対応の医療機関であれば、対応可能であり、窓口負担はない。

※PMH…デジタル庁が開発した情報連携基盤である。自治体や医療機関等がPMH接続を行うことで、住民は各種医療費助成等について、マイナンバーカードによる資格確認等が可能になる。医療費助成の分野でPMHが導入されると、マイナンバーカードを医療費助成受給者証として活用できるようになるため、紙の受給者証が不要となり、マイナンバーカード1枚で受給できるようになる。



6月定例会

令和8年海南市議会6月定例会は、6月11日から30日までの20日間の会期で開かれました。
この定例会には、市長から条例の改正や補正予算、人事案件などの議案が提出され、全て可決、同意されました。また、議員から発議が提出され、可決されました。

快適に利用できる駅前広場に

海南駅前広場整備事業

議案第44号 令和8年度海南市一般会計補正予算(第1号)

こんな質疑がありました

問：海南駅西広場の街路灯のLED化をはじめ、防犯カメラ、ベンチ、電源設備、散水栓などを整備することのことだが、そもそも現状の駅利用者数について把握をしているのか。

答：海南駅の1日当たりの乗降客数は、令和6年度の数値で4,814人となっている。なお、JRを利用する方以外にも、バス利用者や周辺施設へお越しの方々など、一定の利用があるものと認識しているが、それらの人数については把握していない。

問：駅西及び駅東の駐車場について、特に夕方以降、電車が到着する時間になると、迎えの車が集中して混雑しているように感じるが、今回、駐車場の整備はされないのか。

答：駐車場については、時間帯によって混雑することは認識しているが、送迎車については長時間滞留することがないことから、駐車場の不足が生じる状況とはなっていないものとする。

問：今後、駅東土地区画整理事業が進んでいく中で、駅前西口だけを整理して終わりにするのではなく、駅全体を使いやすくしていただきたいと思うが、市の考えは。

答：指摘の内容も踏まえ、引き続き、利用される方が快適に利用し、駐車することができる環境づくりに努めてまいりたいと考えている。

非課税世帯に給付金

物価高騰緊急支援給付金給付事業

議案第62号 令和8年度海南市一般会計補正予算(第2号)

こんな質疑がありました

問：支給額である5,000円について、なぜこの金額になったのか。

答：今回の給付金は、国からの交付金額を踏まえるとともに、市ではすでにプレミアムクーポン券を配布し、利用していただいていること、また、消費者物価指数や基礎年金物価スライドから、物価上昇による影響等を勘案し、5,000円とした。

問：生活保護受給世帯の場合では、保護基準の収入から除外されるのか。

答：物価高騰に対しての給付金であり、生活保護受給世帯についても物価上昇の影響は同様であるため、収入から除外するよう国に求める予定である。

問：物価高騰の影響は現在も続いており、給付金の支給は10月の予定と伺っている。今回のスケジュールとなった原因は。

答：予算をお認めいただいた後、市報等で制度の広報をさせていただく。その後、システム改修等を行い、対象者に対して支給のお知らせを通知し、指定する口座に振り込むという流れになっている。システム改修は、海南市単独の施策ということで、8月の中頃に完了予定となっており、給付金の支給は10月初旬を見込んでいる。



発議

発議とは、議員が議案を提出することで、5月臨時会・6月定例会では5件が提出されました。

発議第1号については**原案可決**となりました。

(発議者：川崎 一樹)

発議第1号 海南市議会委員会条例の一部を改正する条例について

議会広報委員会及び議会運営委員会の委員定数の変更を行うもの。

発議第2号については、賛成少数により**否決**となりました。

(発議者：岡 義明)

発議第2号 オイルショックの影響による市内中小企業等の経営安定化に向けた緊急対策を求める決議(案)について

世界的な情勢不安に伴う原油価格の高騰や供給制限により、原材料調達が困難となり、製造業をはじめ市内中小事業者の経営や市民生活への影響が懸念される。市に対し、原材料調達等の実態調査、経営相談・事業者支援の窓口設置、そして、これら対策の財源を国・県へ求めるもの。(要旨)

問：本発議は、市にどのような役割を期待しているのか。

答:まず、事業者の現状把握に努めること、次に事業者の経営相談等の窓口を開設すること、その上で、状況に見合った対策を講じるという順番になろうと考えている。対策の財源については、国の状況が分からないため、当面は本市の予備費や財政調整基金の活用が考えられる。

発議第5号は**可決**し、内閣総理大臣等に意見書を提出しました。

(発議者：杉本 博美)

発議第5号 石油化学原材料価格高騰等に係る財政支援及び安定供給対策を求める意見書(案)について

中東情勢の動向等を背景に、原油やナフサなど石油化学原材料の価格変動や供給リスクへの懸念が高まり、本市でも中小企業・小規模事業者のコスト負担増大や物価上昇の影響が広がっている。

国に対し、必要な財政支援、安定供給対策、地方自治体及び事業者が速やかに活用できる制度運用を求めるもの。(要旨)

問:5月臨時会において、原材料価格や燃料価格高騰による影響を踏まえた決議案が提出された際には、今回の提出者から反対討論が行われた。前回の決議案と今回の意見書案との違い、また提出に至った考えは。

答:前回の決議案と今回の意見書案は、趣旨及び内容が異なっている。今回の意見書案は、市に対して新たな窓口設置や調査を求めるものではなく、国に対して予備費等を含む財源の機動的活用、中小企業・小規模事業者への重点的支援、原材料の安定供給対策を求めるものである。今後も価格変動や供給リスクが地域産業や住民生活に影響を及ぼす可能性がある中で、基礎自治体だけで対応するには限界があると考え、提出に至った。

問:このタイミングで提出する意義は。

答:中東では未だ不安定な情勢が続いていること、国が行う代替供給にはコストがかかること等から、このタイミングで提出する意義はあると考えている。

※発議第3・4号については20ページに掲載



○発議第2号

反対

市が新たに調査を行う事は、職員の労力やコストを要し、事業者等への負担も懸念される。既存の相談窓口の強化や専門家派遣の拡充等が即効性のある支援であり、国において早期に解決策を進めるべきである。

(中家 悦生)

賛成

市内の状況を見ると、本当に危機的な状況である。この発議を通して、困っている事業者に対し、即刻、支援できるようにしていきたい。

(岡 義明)

反対

今の段階でとるべき対応は不安を増幅させるような決議を提出するのではなく、国際情勢や国・県の対応を注視しつつ、状況に応じた実効性のある具体策を議論していくことだと考える。

(杉本 博美)

○発議第5号

賛成

時期を逸した感はあるものの、市内事業者を支援しようとするこの意見書の目的そのものは、先の5月臨時会意見書の内容と同様に感じるので賛同したい。

(東方 貴子)

議案の審議結果

◎…全会一致で可決、同意

6月定例会

議案番号	議 案	結果
議案第40号	海南市医療費の助成に係るオンライン資格確認に伴う関係条例の整備に関する条例	◎
議案第41号	海南市印鑑条例の一部を改正する条例	◎
議案第42号	海南市立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例	◎
議案第43号	海南市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	◎
議案第44号	令和8年度海南市一般会計補正予算（第1号）	◎
議案第45号	令和8年度海南市介護保険特別会計補正予算（第1号）	◎
議案第46～59号	海南市農業委員会委員任命の同意	◎
議案第60号	工事請負契約の締結	◎
議案第61号	財産の取得	◎
議案第62号	令和8年度海南市一般会計補正予算（第2号）	◎
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦	◎
発議第3号	鳥獣被害対策特別委員会の設置	◎
発議第4号	議会改革特別委員会の設置	◎
発議第5号	石油化学原材料価格高騰等に係る財政支援及び安定供給対策を求める意見書（案）	◎

[議案第40号](#) 関連記事7ページ
 [議案第41号](#) 出入国管理及び難民認定法等の改正に伴い、個人番号カードの機能を付与した特定在留カード及び特定特別永住者証明書を用いて、印鑑登録証明書の交付申請手続ができるようにするもの
 [議案第42号](#) 北野上小学校の東海南小学校への統合、及び下津第一中学校と下津第二中学校の統合による下津中学校の新設をするもの
 [議案第43号](#) 非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正に伴い、非常勤消防団員等に係る葬祭補償の額を改定するもの
 [議案第44号](#) コミュニティ助成事業、学童保育室整備事業、海南駅前広場整備事業などに係る経費について、増額補正を行うもの
 [議案第45号](#) 制度改正に対応するため、システム改修に必要な経費を増額補正するもの
 [議案第60号](#) 防災行政無線移動系の更新工事を行うため、工事請負契約を行うもの
 [議案第61号](#) GIGAスクール用コンピュータを更新するため、財産を取得するもの
 [議案第62号](#) 関連記事8ページ
 [発議第3、4号](#) 関連記事20ページ
 [発議第5号](#) 関連記事9ページ

農業委員会委員に 任命された方 【議案第46号～59号】	内芝 和哉 氏、別院 祥弘 氏、林口 純朗 氏、松尾 育生 氏、 坂口 忠次 氏、志場 豊昭 氏、角谷 泰宏 氏、辻内 敏宏 氏、 中西 源藏 氏、中山 貴司 氏、前山 裕志 氏、南方 勝幸 氏、 橋本 昌明 氏、後和 拓延 氏
------------------------------------	---

人権擁護委員に推薦された方 【諮問第1号】	中山 佳子 氏
--------------------------	---------

5月臨時会

議案・補正

補正・発議

発議

審議結果

政務活動費

一般質問

令和7年度政務活動費

政務活動費は、議員の調査研究その他活動のために支給されます。条例により使い道のルールがあり、支出残額がある場合は市に返還されます。なお、過去5か年度分の収支報告書は、議会図書室で閲覧できます。

氏 名	交付額 (円)	支出 (円)								交 付 確定額 (円)	返還額 (円)
		調 査 研究費	広報費	会議費	資 料 作成費	資 料 購入費	人件費	事務所費	合 計		
岡 義明	240,000		91,336				120,000	75,000	286,336	240,000	0
溝口 恵敬	240,000	70	105,466		17,450	138,030	120,000		381,016	240,000	0
東方 貴子	240,000		178,825	4,000	12,000	59,624		41,861	296,310	240,000	0
川口 政夫	240,000	44,728	147,333		17,732	45,600		27,968	283,361	240,000	0
杉本 博美	240,000	40,699	70,312		12,160	22,660		114,837	260,668	240,000	0
橋爪 大輔	240,000	40,699			12,000	66,517			119,216	119,216	120,784
榊原 徳昭	240,000	40,699			13,436	102,160		37,317	193,612	193,612	46,388
森下 貴史	240,000				12,000	44,550			56,550	56,550	183,450
熊野 愛子	240,000		157,219		12,000	56,400		26,119	251,738	240,000	0
古田 充司	240,000		224,257					56,700	280,957	240,000	0
川崎 一樹	240,000	40,699			12,000	44,000		57,758	154,457	154,457	85,543
米原 耕司	240,000	40,699			24,748	85,800		49,222	200,469	200,469	39,531
池原 弘貴	240,000	40,699			34,855	43,520		83,709	202,783	202,783	37,217
田村 秀明	240,000		380,670						380,670	240,000	0
中家 悦生	240,000				12,000	70,262			82,262	82,262	157,738
宮本 憲治		交 付 申 請 な し								0	0
栗本 量生	240,000				12,000			16,555	28,555	28,555	211,445

(注) 研修費、広聴費、要請・陳情活動費については、いずれの議員も支出がありませんでした。

調 査 研 究 費 地方行財政等に関する調査研究または調査委託に要する経費
研 修 費 研修会を開催するための経費または研修会に参加するための経費
広 報 費 議員活動または市政について住民に報告するための経費
広 聴 費 市政に対する意見聴取または住民相談等の活動に要する経費
要請・陳情活動費 議員が要請または陳情活動を行うための経費

会 議 費 団体等が開催する各種会議へ参加するための経費
資 料 作 成 費 議員活動に必要な資料作成のための経費
資 料 購 入 費 図書、資料等を購入するための経費
人 件 費 議員活動を補助する職員を雇うための経費
事 務 所 費 事務所の設置または管理のための経費

一般質問

一般質問とは、議員が市民の代表として、市の行政全般について、現在の状況や将来の方針などを質問したり、提言を行うものです。政策の見直しや改善につながる役割があります。6月定例会では、13人の議員が一般質問を行いました。



ここが聞きたい!! 13人が市政を問う

1 東方 貴子 (13ページ)

- ◎人口減少・高齢化社会における海南医療センターの役割について
- ・ノビノスの集客力を活かした中心市街地活性化と連携について
- ・学校生活における暑さ対策と子育て世代への負担軽減について
- ・重度障がい者とその家族が安心して外出できる環境づくりについて

2 坂口 勝彦 (13ページ)

- ◎70歳以上の農業従事者への空調服の補助について
- ・海南市におけるクマ対策について
- ・会計年度任用職員の勤務時間の短縮について

3 池原 弘貴 (14ページ)

- ◎海南ハレアメの経過報告と今後の展開について
- ・ハイキングコースの維持管理について

4 森下 貴史 (14ページ)

- ◎介護保険による住宅改修制度について
- ・電動自転車購入について
- ・車中避難について

5 古田 充司 (15ページ)

- ・関係人口・交流人口の構築について
- ◎自治会活動・地域維持について

6 那須 亜美 (15ページ)

- ・学校給食について
- ◎高齢者の健康維持と地域住民の交流の場について

7 岡 義明 (16ページ)

- ・奨学金返還助成事業について
- ◎「泊まれる廃校」について

8 田村 秀明 (16ページ)

- ◎本市の消防本部及び消防団について

9 溝口 千歳 (17ページ)

- ◎小中学生の登下校の安全対策について

10 中家 悦生 (17ページ)

- ・(仮称)有田川・海南風力発電事業について
- ◎海南サクアスの車両の通路と駐車場について

11 熊野 愛子 (18ページ)

- ◎投票環境について
- ・情報発信と関係人口の創出について

12 宮本 憲治 (18ページ)

- ・国勢調査の速報値について
- ◎空家対策について

13 橋爪 大輔 (19ページ)

- ◎子どもの遊び場確保について
- ・新規就農支援と農業振興について

※ ◎の質問の概要を掲載しています。

高齢化社会における医療センターの役割は

● 守るべきものは守り、見直すべきものは見直す



録画映像



東方 貴子

問 本市の高齢化率は38%を超え、今後さらに高齢化が進むことが見込まれる。急性期医療は必要であるが、

高齢者施設との連携を含めた地域医療のハブとしての役割も重要である。

答 紹介率低下の要因は、内科医不足などにより紹介患者の受入れが減少したためと考えている。また、高齢者施設との連携を含めた地域医療のハブとしての役割も重要である。

問 海南医療センターの紹介率は、令和5年度の42・3%から令和7年度は38・5%へ低下している。また、救急搬送受け入れ件数は900件程度であり、146床の急性期病院としては少ない水準である。さらに、入院患者に占める65歳以上の割合は90%とのことである。紹介率低下の要因と高齢者医療に対する考えを伺う。

答 海南医療センターは海南海草地域の中核病院として、急性期医療を担ってきた。今後も真に市民に必要とされる病院であり続けられるよう、守るべきものは守り、見直すべきは見直していく。また、2040年には更なる少子化となることから、議員発言の趣旨も踏まえ対応していく。



海南医療センター



坂口 勝彦



録画映像

上限額を設けて空調服購入時の補助をお願いしたい

● 他の自治体の取り組み状況を調査し検討したい

問 特に果樹の消毒では雨カッパを着て

70歳以上の方々が安心して農作業を継続できる環境づくりの一環として、空調服の導入支援は意義のある施策の一つであると認識している。

答 近年の猛暑により、農作業中の熱中症対策がますます重要な課題であると認識している。とりわけ、農業従事者の高齢化が進む中、70歳以上の方々が安心して農作業を継続できる環境づくりの一環として、空調服の導入支援は意義のある施策の一つであると認識している。

問 70歳以上の農業従事者の方への空調服購入時の補助の考え方について伺う。毎年、もの凄い猛暑が6月頃から続いており、農作業に空調服は欠かせないものとなっている。そこで、市から70歳以上の農業従事者の方に対し、上限額を設けて空調服購入時の補助を求める。

答 特に、これからの時期の農作業については、大変、厳しいものとなっていることは承知している。雨カッパを含めた空調服の購入用補助について、他の自治体の取り組み状況を調査し、検討したい。



答 特に、これからの時期の農作業については、大変、厳しいものとなっていることは承知している。雨カッパを含めた空調服の購入用補助について、他の自治体の取り組み状況を調査し、検討したい。

行うが、近年の異常気象による気温上昇で、6月頃からの消毒は過酷極まりないのが現状である。また、雨カッパの空調服は通常の空調服よりも高額となる。そこで、特に雨カッパの空調服購入に対する補助を検討していただきたい。

海南ハレアメの今後の運営方針について

●指定管理者と連携し、質の高い管理運営に努めていきたい



録画映像



池原 弘貴

問 オープンして間もない海南ハレアメの運営実績はどうなっているか。

答 5月末までの来園実績は、休日は1日平均5千人以上、平日は1千人以上である。特に人気がある施設は、ハレアメドームと体験学習館である。

問 園内を見て回ったが、日陰や木陰が少なく、夏場の暑さ対策をどのように考えているか。

答 暑さ対策として、パーゴラにミスト機能を付けているほか、こども広場には水遊び用のせせらぎがある。また、無料のレンタル日傘や有料の簡易テントの貸し出しも行っている。万博で使用された樹木49本を園内に移植済みで、年月は掛かるが、木陰も増えていくと考えている。

問 来園者の市内外、県外などの区分を把握しているか。

答 現状では詳細な集計はできていない。今後アンケート調査を実施し、客観的な評価指標とするため、年間1千件以上の回答を得られるよう努めていく。

問 特に夏は日中暑くなるが、夜間のイベント等による活用を考えているか。

答 夏季の対応は、開園時間の延長も含め検討している。夜間対応は新たな課題も生じることから、指定管理者と協議を進めた上で判断していく。



まずは、物価高騰の把握を

●ケアマネジャー会を通じ把握したい



録画映像



森下 貴史

問 介護保険による住宅改修は、手すり設置や段差解消などを支援し、要介護・要支援者の在宅生活の継続と介護者の負担軽減を図る制度である。しかし、近年の資材費や工事費の物価高騰は、住宅改修にどの程度影響しているかと把握しているか。また、利用者から「20万円の上限では足りない」との声はあ

答 具体的な影響は把握しておらず、上限額では足りないとの声も把握していない。

問 利用者やケアマネジャー、施工業者に対し、自己負担の増加や工事内容の縮小などの実態調査を行う考えはあるのか。

答 今後、ケアマネ会等を通じて、住宅改修を断念・縮小した事例などの状況を把握

したいと考えている。

問 非課税世帯に対し、市独自の住宅改修補助事業は直近3年間で利用実績が1件のみである。対象要件や周知方法を見直すとともに、物価高騰を踏まえ、補助額や対象者の拡充を検討すべきではないのか。

答 住宅改修費物価高騰への対応は、まず国が介護保険制度の上限額を見直すべきと考えている。市としても、国や他市の動向を踏まえ、補助制度の見直しを含め適切に対応していく。



今後の自治会活動を、どのように考えているか

●負担軽減に繋がる見直しを進めていきたい



録画映像



古田 充司

問 本市の自治会加入率はどの程度か。近年の推移も併せて問う。

答 本市の自治会の加入率については、市の自治会振興助成金申請に基づき算出しており、現在68・0％となっており、近年の推移では、前年度が70・3％、前々年度が71・2％、3年度前が71・6％であり、本市においても減少傾向にある。

問 自治会加入率が年々低下しているとのことだが、今後さらに進む高齢化社会の中、自治会活動や地域自治活動の負担軽減について、どのように考えているか。

答



自治会への加入促進のための窓口での案内、宅建協会の協力による案内配布のほか、自治会の金銭的な負担軽減につながるよう、LED防犯灯における設置補助額の引上げ、電気料金補助率のかさ上げを行っているほか、行政局や支所・出張所も協力し、文書の作成代行なども行っている。また、充て職等による負担軽減については、現在、市民交流課が中心となり、庁内各課に対し見直し協議、調整のほか、これら以外にも、地区で実施したく除草作業や川清掃などについても関係課により対応しており、継続して負担軽減につながる見直しを進めていきたい。

公衆浴場（銭湯）の存続支援について

●注視しながら総合的に検討を進めていきたい



那須 亜美



録画映像

問 市内の公衆浴場が、燃料費や光熱費の高騰によって経営が厳しくなっている状況について、市はどのように把握しているか。

答 海南商工会議所をはじめとする関係団体へのヒアリングを通じて、各事業所においては原材料費や燃料費、光熱費の高騰が経営に一定の影響を及ぼしている状況であることを把握している。また、昨今の中東情勢の動向によつては、エネルギー価格の上昇等が長期化する可能性もあり、事業者の経営環境がさらに厳しさを増すことも懸念される。

問 支援策はどのような形で考えているか。

答 今後の支援策については、現在、国においては、燃料油価格引下げ措置や、電気・ガス代の価格激

変緩和対策が実施されており、さらなる対応として、中東情勢の不透明化に伴うエネルギー価格の高騰の影響を受けて、6月5日に国の補正予算が成立している。

問 市においても、燃料油価格の推移などを注視しながら、総合的に検討を進めていきたい。海南保健福祉センターの入浴サービスは現在週1回であるが、入浴日の回数を増やす事は可能か。

答 職員の体制上、入浴サービスの回数を増やす事は困難である。



廃校をリノベーションし季節労働者等の宿泊施設に再活用を求める

● 廃校の利活用は利用ニーズの把握等の検証が必要



録画映像



岡 義明

問

下津ミカンの収穫期には、多くの季節労働者が訪れる。しかし、季節労働者を迎える入れ、生活拠点となる公的宿泊施設は近隣にない。ミカン産地として、労働者の受け入れ施設は行政が確保すべきである。

廃校をリノベーションし、過疎地域で新たな活力を見いだす起爆剤とする。収穫期には季節労働者の宿泊施設として、収穫期以外にはグリーンツーリズム、ワーケーション、インバウンド、さらにはバイクツーリング等の宿泊拠点とし、交流人口を増やすとともに、地元住民のコミュニティの場とし、廃校の再活用を提案する。

答

廃校を地域の活性化拠点として再活用することは重要であることと認識している。先進事例においても、関係人口の創出や地域課題の解決につながる魅力的な手法であると考ええる。一方で、「将来的に事業継続できるのか」「事業の運営主体が確保できるのか」という課題に加え、利用ニーズの見込みを把握し、検証する必要があると考えている。



ミカン農園の援農者

団の組織集約で設備投資の抑制を提言する

● 施設と車輛の効率的で効果的な配置を検討する



田村 秀明



録画映像

問

令和7年度の本部の出動回数は火災9件、救助48件であるが、救急出動は3,070件に上り、これに対して、救急救命士28名が365日24時間体制で対応している。隊員の健康やストレスが懸念される状況であり、救急救命士の人員数の強化が必要と考えるが。

答

定期健康診断、ストレスチェック、所属長面談、勤務状況把握に努め、計画的な養成や資格取得で安定した救急サービス体制確保に努める。

問

消防団の実員数は651名に対して条例定数は73名であり、2005年の旧海南市と旧下津町の合併時のものが踏襲されている。条例定数の削減を行うべきと考えるが。

答

条例定数については人口動向、地域

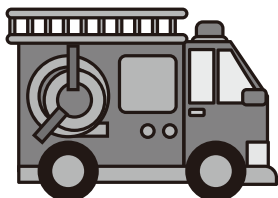
の実情、消防団活動を勘案して、適正な団員定数を検討してゆく。

問

消防団の器具置き場52カ所、車輛50台の点検で負う団員の負担を問う。また団の出動回数が直近4年間で平均3・25回であることから団の組織集約をもって設備投資を抑制すべきと提言する。当局の考えは。

答

団員は月2回程度、器具置場と車輛点検、水利調査を行って、また指摘通り、施設や車輛更新の費用は課題である。地域の実情や出動状況、災害対応を踏まえてそれらの配備を検討してゆく。



登下校の見守り隊の担い手確保は

- PTA・自治会等と連携を深め、より幅広い世代へ参加をよびかける



録画映像



溝口 千歳

問 本市における見守り隊の登録者数や活動状況は。

答 現在市全体で300名程度の方々に協力をいただいている。このうちおよそ150名の方が常時街頭での見守り活動を行っている。把握している。青少年センターによるパトロールを実施、毎月1日には各学校の教職員や保護者の皆様、教育委員会からも通学路に立って、見守りを行っている。

問 見守り活動を行う方々の高齢化や担い手不足の現状認識と今後の担い手確保に向けて、どのような呼びかけを行っているのか。

答 見守り活動に携わっていただいている方々の高齢化が進んでおり、実際に従事されている方が少なくなってきたという現状は認識している。今後は、PTAや自治会等とさらに連携を深め、より幅広い世代に活動への参加を呼びかける。

問 ボランティアの方々が安心して見守り活動に参加できるよう、どのような支援を行っているか。

答 活動中の事故等に対応するボランティア保険への加入手続きを、市の負担で行っており、熱中症への補償も盛り込んでいる。また、企業から寄贈いただいた熱中症対策帽子、ベストなどを配布している。



日方子ども見守り隊の様子

臨時駐車場の確保を最優先に進めるべき

- 関係者との協議が速やかに進められるよう検討したい



録画映像



中家 悦生

問 海南サクアスの駐車場は十分確保できているか。

答 土日祝はお昼前後の時間帯は混雑するものの、満車になることは少ない。大型連休は初日や中日が満車になることもある。

問 大型車両用通路の物産交流館正面入口の前の駐車が常態化している現状を把握しているか。

答 把握している。通路や枠外駐車に對し、これまでどのような対応をしてきたのか。

答 開駅当時は、近隣の民有地を臨時駐車場として借り、混雑時の対応を行ってきた。現在、満車の際には国の管理部分である通路の一部を駐車場として利用することで、より多くの車が駐車できる

問 ようにしている。通路や枠外駐車は危険であり、不公平であるため禁止すべき。今後の対応は。

答 安全性に配慮するとともに公平性の確保が基本であると認識している。通路は本来の駐車スペースではないため、混雑が予想される際の臨時駐車場の確保を検討している。

問 臨時駐車場の確保は最優先に進めるべきであると考えがどうか。

答 候補地の選定や土地所有者との協議を速やかに進められるよう、指定管理者等と交えて検討したい。



常態化している通路への駐車

選挙における投票時間等の見直しを

●十分に協議し、地域の声を聴きながら対応する



録画映像



熊野 愛子

問 近年の人口減少や期日前投票者数の増加など、投票環境の変化に対応し、選挙執行体制の見直しを図っていかねばならないと考える。本市の期日前投票者数と投票者数全体に占める割合は、

答 昨年度の参議院議員通常選挙では13,878人で57・15%、衆議院議員総選挙では13,526人で61・62%である。参議院議員通常選挙では、期日前投票者数が過去最高となり、投票率も、前回の同選挙と比較し、9・76%の上昇となった。

問 本市でも期日前投票が定着してきていることから、投票終了時刻をさらに1時間繰り上げてはどうか。

答 一部の地区からも要望を頂いているが、県からは、選挙人が

の投票機会の提供に努めるよう求められているため、十分協議し、検討を進めたい。

問 現在、45力所の投票所が設置されているが、有権者の減少に伴い、小規模化や学校施設の統合、老朽化も課題になってくると思うが、当日投票所の設置数の見直しについての見解は。

答 現状の45力所をそのまま維持していくことには、課題が生じてくるものと考えている。今後、投票環境全体を整理する中で、地域の意見を伺いながら議論し、対応していく。



空き家撤去後の税の減免制度の継続を

●制度終了後、減免制度の取り組みを含めた有効な対策を検討



録画映像



宮本 憲治

問 老朽化し、危険な空き家が海南市には至るところに存在する。これに対して、老朽危険空き家除却工事補助金等、誇るべき施策が本市にはある。廃屋の撤去の契機づけとして必要な施策である。

空き家解体撤去後の土地に係る固定資産税の減免制度の成果と課題を問う。

答 224件の減免措置が適用されており、空き家除却を促進する効果があった。

一方で、空き家以外の住宅を除却した所有者との税の公平性を損なう点や、令和5年度をピークに件数が減少に減じている点が課題である。

問 県下9市と紀美野町の空き家解体撤去後の土地に係る固定資産税の減免制度実施状況を問う。

答 海南市、有田市、御坊市、新宮市が減免期間5年間、紀美野町は2年間、紀の川市は1年間で実施している。和歌山市、橋本市、田辺市、岩出市は実施していない。

問 空き家解体撤去後の土地に係る固定資産税の減免制度の継続を求めるが、市の考えは。

答 制度終了後には、空き家対策に取り組む中で、制度終了後の状況を評価し、不動産業者等の関係者の意見も聞きながら、減免制度の取り組みを含めた有効な対策を検討する。



子どもの遊び場確保に向けた取り組みについて

●安全と遊びの両立へ調査研究に努める



録画映像



橋爪 大輔

問 ハレアメ以外の地域の公園について、フェンスや防球ネットのかさ上げなど、安全

と遊びの両立へ調査研究に努める。また、7,000㎡の芝生と土の広場を整備しており、ボール遊びについても利用を推進していく。

答 休日等の学校開放の仕組みづくりについては、学校運営協議会やPTAに協議を働きかけていく。海南ハレアメでは、遊びながら土木と防災を学ぶ体験型イベントに取り組んでおり、今後も充実に努める。また、7,000㎡の芝生と土の広場を整備しており、ボール遊びについても利用を推進していく。

問 近年、子どもの安全を守る意識が高まる一方で、自由に遊べる場所が減少している。学校施設の利用、地域で見守るプレーパークのような取り組み、公園内でのボール遊びなど、子どもの遊び場の確保について、市の考えは。



答 市が管理する公園内でのボール遊びは一律に禁止していないが、一部では注意喚起の看板を設置している。比較的広く、ボール遊びがしやすい公園としては、北赤坂のいきいき広場や下津地区の港ふれあい公園などがある。ネットやフェンスの設置は、景観への悪化や費用面等での課題もあるため、周辺環境との調和を図りつつ、地域のニーズと可能な対応について調査研究に努める。

市議会ホームページ

市議会ホームページでは、市議会の日程や議案などの情報を掲載しています。また、会議録を閲覧いただけるほか、本会議の生中継や委員会の録画映像の配信も行っています。委員会の録画映像は、休日を除き約10日後からご覧いただけますので、ぜひご利用ください。

市議会だよりへのご意見をお聞かせください

より良い紙面とするため、市議会だよりに関する皆さまのご意見等をお寄せください。

9月定例会の予定

市議会の定例会は年4回開催されます。
9月定例会は、9月3日（木）に開会する予定です。

市議会では、市民の皆さまの生活に密着したさまざまな問題が審議されています。市政を知る機会にもなりますので、ぜひお気軽に傍聴にお越しください。

なお、日程は変更となる場合があります。傍聴を希望される場合や本会議の生中継をご覧になる場合は、お手数ですが、議会事務局まで日時をお問い合わせください。

海南市議会事務局

〒642-8501 海南市南赤坂11番地
TEL/073-483-8700 FAX/073-483-8703
Eメール/gikaij@city.kainan.lg.jp
HP/https://www.city.kainan.lg.jp/kakubusho/gikaijimukyoku/index.html

ホームページ
二次元コードFacebook
二次元コード

2つの特別委員会を設置しました!

発議第3号 鳥獣被害対策特別委員会

近年、鳥獣による農作物被害や生活圏への出没が全国的に問題となっており、本市でも熊の目撃情報などにより市民生活への不安が生じている。市民の安全・安心を守るため、熊をはじめとする鳥獣の出没・被害状況、市の対応、関係機関との連携について調査研究を行うため、本特別委員会を設置する。

◎中家悦生 ○坂口勝彦

橋爪大輔 池原弘貴 那須亜美 榊原徳昭 川口政夫 溝口千歳

発議第4号 議会改革特別委員会

地方議会を取り巻く環境が変化中、市民の負託に応える議会であり続けるため、議会の機能や運営体制を検証し、必要な見直しを進める。委員会構成及び委員会運営のあり方、議会活動の充実、市民に分かりやすい議会運営など、議会改革に関する事項について幅広く調査研究を行うため、本特別委員会を設置する。

◎森下貴史 ○熊野愛子

岡 義明 田村秀明 東方貴子 古田充司 宮本憲治 川崎一樹 杉本博美

◎委員長、○副委員長

全国市議会議長会表彰

5月27日に開催された全国市議会議長会第102回定期総会において、海南市議会議員 川口政夫氏が、議員在職20年以上として表彰されました。このたびの受賞に対し、心よりお祝い申し上げます。



読みやすく、より親しみやすい広報紙を目指します。



市民の皆様には海南市議会をより身近に感じていただくよう、多くの方に手に取っていただき、関心を持って読んでいただける「市議会だより かいなん」を目指します。

新メンバーとなった広報委員が力を合わせ、今後も皆様からのご意見やご要望をお聞きしながら、読みやすく、親しみやすい議会広報に取り組んでまいります。 海南市議会広報委員一同